

研究協力をお願い

昭和大学歯科病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当院矯正歯科における口腔筋機能療法(MFT)を受診した患者の臨床統計的検討

1. 研究の対象および研究対象期間

2014年4月1日～2024年3月31日の期間において、昭和大学歯科病院矯正歯科に受診し口腔筋機能療法(MFT)を受診した患者さん。

2. 研究の概要・計画

舌や唇の癖は、不正咬合の誘因の1つです。また矯正歯科治療においては、舌や唇の癖が後戻りの原因にもなります。口腔筋機能療法(MFT)を受診した患者さんのデータを詳細に分析する事で、将来的なリスクを予測し、早期に治療介入ができる可能性があります。また本研究データを元に早い時期での矯正歯科治療の介入を検討することで、その後の不正咬合の重症度の予防及び治療期間・侵襲の軽減に寄与するのではないかと考えております。

【本研究の資金源と利益相反について】

本研究は昭和大学歯学部歯科矯正学講座が計画し、大学研究費および公的補助金(文部科学省科学研究費)により実施する自主臨床研究であり、製薬会社をはじめ他の団体からの資金的援助に基づいて行われるものではありません。本研究の計画、実施、発表に関して可能性のある利益相反(conflict of interest)はありません。利益相反とは、研究結果に影響するような利害関係を指し、金銭および個人の間を含みます。

3. 研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

基本問診情報(年齢、性別、主訴、病名、既往歴、家族歴、アレルギーの有無、特記事項記載)

矯正歯科診断のための検査項目(口腔内写真、顔貌写真、X-P写真(頭部X線規格写真(正面・側面)・パノラマX線画像・デンタルX線画像)、歯列模型データ)

口腔筋機能療法実施のための診査項目(筋機能主訴、構音の問題、口腔悪習癖、舌突出の種類、舌の状

態、舌の姿勢、舌小帯の状態、最大開口量、舌挙上時の開口量、舌圧の測定値、口唇の状態、口唇力測定値、オトガイの状態、咬筋の収縮、顎関節の状態、硬口蓋の状態、軟口蓋の状態、咀嚼パターン、歯周病の問題、口腔清掃状態、姿勢、顔貌所見)。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者 昭和大学歯科病院矯正歯科 芳賀 秀郷

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学歯科病院 矯正歯科

氏名：芳賀 秀郷

住所：東京都大田区北千束 2・1・1

電話番号：03-3787-1151